

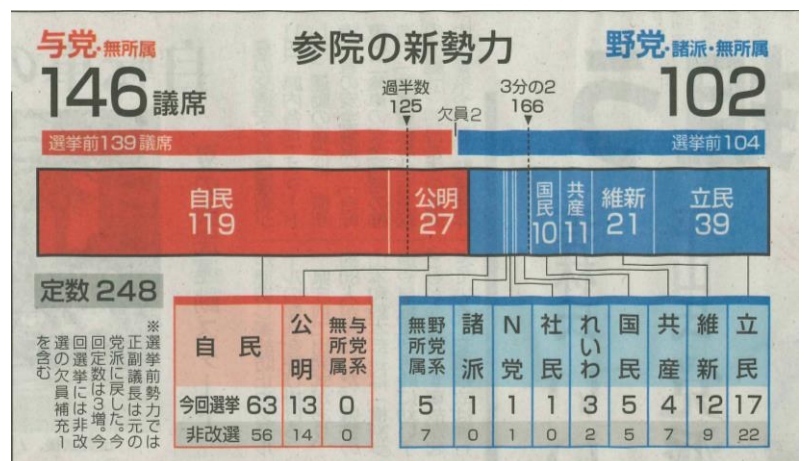


静岡県勤労者協議会連合会
ホームページ <http://kinrokyo.net/shizuoka/>
Eメールアドレス shizuoka@kinrokyo.net

2022 参議院選挙結果 有権者が岸田政権に「白紙委任」したわけではない

第26回参議院選挙は7月10日、投開票されました。自民党は単独で改選過半数の63議席を確保し大勝した。改選23議席の立憲民主党は17議席に後退した。公明党は1議席減の13議席。日本維新の会は改選議席から倍増の12議席で、比例代表議席では立民を上回った。共産党、国民民主党はいずれも議席を減らした。改憲勢力は自公両党と維新、国民の4党に改憲に前向きな無所属を含む。95議席を得て、非改選の84議席と合わせて179議席となり、2/3（166議席）を超えた。

自民党は選挙区で計45議席を獲得し、比例は1減の18議席。公明は選挙区で7人全員が当選したものの、比例が1減となった。維新は選挙区で1増の4、比例は5増の8議席を得た。共産は東京の議席を維持したが、比例で2減の3議席、計4議席に止まった。国民は選挙区が3から2に、比例は4から3に減少した。れいわ新選組は東京で1、比例2の計3議席を獲得した。社民党、NHK党、諸派の参政党はそれぞれ比例で1議席を得た。



静岡選挙区開票結果

当	622,141	若林洋平	自新
当	446,185	平山佐知子	無現
	250,391	山崎真之輔	無現
	137,835	鈴木千佳	共新
	72,662	山本貴史	諸新
	19,023	堀川圭輔	N新
	14,640	舟橋夢人	N新
	10,666	船川淳志	無新

なお、静岡選挙区の選挙結果は左の内容でした。自民党の若林候補、無所属の平山候補は投票締切後には「当確」が発表されました。昨年の参議院補欠選挙で当選した無所属現職の山崎候補には選挙前段に「維新の会と国民民主で選挙協力（その後、撤回された）」や「女性問題」等があり、立憲民主党が推薦を見送った結果が「連合、立憲、国民の共闘体制が築けなかった」ことが敗因の要因となりました。

一方、社民党は県内でも「政党要件の確保」に向けた取り組みを進めた結果、比例票は2.1%を獲得するなど奮闘しました。

今回の争点は防衛や改憲ではない

今回の参議院選挙の結果を踏まえて、東京新聞は以下の内容を発表しましたので参考にして下さい。

(紙面作成の為に一部を省略しています)

争点は明確だった。食料品やエネルギーの値上げが続き、有権者は投票基準として物価高・経済政策、年金・医療など「暮らし」を重視し、自民党が主張した防衛費倍増や改憲への関心は低かった。首相は、有権者が何を求めて投票したかを肝に銘じるべきだ。

◆物価高に柔軟対応を

秋に向けて一層の物価上昇が予想される。大規模金融緩和の継続で米国との金利差が広がり、当面は円安基調が続く見通しだ。関係業界への補助金や地方への交付金だけで物価高に対応できるのか。野党が唱える消費税減税に一考の余地はないのか。大胆かつ柔軟な政策判断が必要だ。

賃上げも急務だ。自民党は四半世紀にわたる賃金低迷からの脱却を掲げるが、具体策は賃上げ促進税制の拡充などに止まる。企業の税制優遇や財界への要請といった従来の取り組みに加え、より実効性ある対策を探るべきだ。

◆「白紙委任」ではない

有権者が岸田政権に「白紙委任」したわけではないことを忘れてはならない。自民党内には首相は「黄金の3年間」に入ったとの見方もある。国政選挙が当面ないため、賛否の分かれる政策も世論を気にせず実現できる、というわけだが、考え違いも甚だしい。

例えば防衛費。自民党は国内総生産(GDP)比2%以上を念頭に、5年以内に防衛力を抜本的に強化すると訴えた。今の1%程度から年5兆円以上の増額だ。東アジアの緊張を高めないか、財源をどう確保するのかなどの疑問は尽きず、首相も「政府としては数字ありきではない」と明言し、党公約との乖離(かいり)が生じている。

自民党内では「黄金の3年間」に改憲を急ぐよう求める意見が強まる可能性もある。しかし、民意を読み違えてはならない。生活苦に直面する有権者の改憲への関心は低く、各党間の論戦も深まらなかった。年限を切った「改憲ありき」の姿勢は厳に慎むよう重ねて求める。改憲よりも、急速に進む少子高齢化対策こそ待ったなしだ。

子育てや年金、医療などの社会保障政策を持続可能なものにするには、一内閣に止まらず、超党派の中長期的取り組みが必要となる。そのためにも、国会の機能を回復することは最優先の課題だ。先の通常国会では政府提出の61法案が総て成立した。国会が政府の追認機関に堕しているようでは、与野党間の建設的な議論を通じてよりよい政策を予算や法律の形でつくり上げる唯一の立法府としての役割は果たせない。

◆野党共闘再構築急げ

国会論戦に緊張感を与える役割を担う野党の責任も重い。参院選で野党共闘は不調に終わり、32の改選1人区での野党系候補の勝利は4選挙区で、前回の2019年の10議席を大きく下回った。野党陣営が内向きな主導権争いに終始し、11選挙区の1人区でしか候補者を1本化できなかったためで当然の結果だろう。(東京新聞2022年7月11日)

◆野党共闘が実現していたら5議席増の可能性あった。

上記に関連して以下の記事も参考になります。野党が競合したのは21選挙区。このうち敗れた19選挙区を分析すると、主な野党公認・推薦などの候補の得票数を合わせれば、自民党候補を上回ったり、肉薄したりした選挙区が5つあった。1本化できていれば、10勝した前回の2019年に近い善戦となった可能性がある。

主な野党が競合した選挙区で、立憲民主党と日本維新の会、共産党、国民民主党の4党の得票を合わせると、自党候補を上回る選挙区は秋田、福井、奈良の3県。また、宮崎と大分の両選挙区で4党候補の票を合わせると、自民候補との得票率の差は2ポイント以内であった。

当落結果
主な労働組合候補の

立民	自治労	鬼木 誠	当
	JP労組	柴 慎一	当
	日教組	古賀千景	当
	情報労連	石橋通宏	当
	基幹労連、JAM	村田享子	当
国民	UAゼンセン	川合孝典	当
	自動車総連	浜口 誠	当
	電機連合	矢田稚子	落
	電力総連	竹詰 仁	当

◆結びに

参院選が終わり、選挙疲れを癒している仲間も多くいると思います。具体的な意見交換は今後の討論に委ねることにします。しかし、東京新聞の提起していることは、改憲勢力が2/3の議席を占めたとはいえ、『有権者は白紙委任をしていない』ことや、琉球新報も『岸田首相は憲法論議の前に、沖縄では参院選で伊波洋一が勝ったので基地問題を優先に』と、報道していました。私たちも東京新聞・琉球新報を参考に「元気が出る前向きな討論」を行い、今後も『憲法改悪を反対』する運動を強化していきましょう。
(静岡県勤労協事務局長 秋山 一)

各地区活動報告

☆三島市連合勤労協

第59回定期総会を開催

三島市連合勤労協は5月20日（金）18時30分より、三島市長伏公民館に於いて、第59回総会を開催しました。

○2021年度事業報告

多くの勤労協活動が延期、中止になる中、自然環境保全の観点から以前から活動している山田川自然の里での竹林整備に本格的に取り組んだ一年でした。多くの会員に協力を呼びかけ、竹の間伐、焼却作業、破碎機を使用し間伐竹のチップ作成、また竹林散策路の整備も行い、訪れる親子連れや散策する人たちは自然を楽しんでいます。

4月23日は恒例の竹の子堀を行い、親子50名が参加しました。

○2022年事業計画

1、協働して街づくりを進めます

山田川自然の里、箱根接待茶屋、富士山ろく植樹、各地区の独自の環境整備

2、勤労協活動の活性化に努めます

結成60年の歴史を持っていますが高齢化などで様々な問題を抱えている。このことは活動のマンネリ化、若年会員の存在、意識の変化等にあると思います。状況を共有し、皆で考えて方向づけを行います。

3、私たちの身近な問題である市政、県政、国政に常に関心を持ち、自己啓発に努めます

懇談会や研修会に参加し、政治、経済、文化の見識を深めます。

4、会員親睦会を適宜開催します

2022年度役員

会長・仁杉秀夫

副会長・山田信昭

事務局長・後藤憲俊

事務局次長・古瀬秀樹、菊池博

会計・堀江辰男

(三島市連合勤労協 第59回総会議案書より抜粋)

☆清水地域勤労協

第28回定期総会を開催

6月29日午後6時より、清水区おしば会館で「第28回清水地域勤労者協議会定期総会」が開催されました。なお、第28回定期総会はコロナ感染対策を考慮して規模縮小（勤労協役員+各構成組織代表者）して実施しました。すでに参議院選挙が6月22日告示、7月10日投票日でスタートしており、同総会



は「当面する参議院選挙は立憲野党の勝利に向けて闘う意志統一の場」となりました。

同総会では、鈴木禎昭会長が「参議院選挙の情勢では与党である自公で過半数を確保する見込みと、報道されている。現状で推移していけば他の改憲勢力を加えれば 2/3 を占める危険な状況となっている。是非とも、『平和と民主主義・物価高から生活を守るため』にも参議院選挙では憲法 9 条を改悪させない勢力が 1/3 以上を占める様に全力を上げて闘い抜きましょう」と、力強く訴えました。

2022年度役員

会長・鈴木禎昭
事務局長・秋山一

副会長・伊藤智尚、小豆澤清久、橋本勝六
運営委員・栗田洋 監査委員・杉山満史、鈴木雄祐

憲法9条を改悪させないために立憲野党の躍進を勝ち取ろう！

同総会で来賓として参加した林よしくに県議会議員は、「核兵器禁止条約の締約国会議（6月21～23日）に、日本が不参加を表明した事に関して、国内ばかりか世界からも多くの批判の声が出ているので、『県議会として日本政府にオブザーバー参加を含む、核兵器のない世界の実現に向けて努力することを要望する意見書』を可決させるために努力をしている」との報告を受けました。

続いて、小山さとる静岡市議会議員からは「6月静岡市議会報告を受けながら、当面する参議院選挙の闘いに全力を上げて取り組む」との決意表明がされました。



同総会では、予定されていた「2021年一般経過報告」、「2021年度決算報告・同会計監査報告」、「2022年度活動方針」、「2022年度予算」、「2022年度役員体制」が全体で確認されました。なお、



清水勤労協としての『今後の取り組み』としては、8月6日に『清水・平和の塔清掃』。9月21日～10月5日にかけて「沖縄復帰50周年。過去と現在の沖縄」と題しての『写真パネル展とビデオ上』を企画しています。具体化したら後日、報告致します。

核禁止条約会議閉幕 不参加は歴史的過ち

【はじめに】

ウィーンで6月に開催された『核兵器禁止条約の締約国会議（6月21～23日）』に、日本が不参加を表明した事に関して、国内ばかりか世界からも多くの批判の声が出ました。以下に琉球新報の社説を紹介します。これから国内で開催される「原水禁世界大会」に向けた私たちの活動に役立つものと思います。



【本 文】

ウィーンで開かれた核兵器禁止条約の第1回締約国会議が3日間の日程を終え閉幕した。オブザーバー参加を見送った日本政府の不在が際立った会議だった。広島、長崎の両市長や被爆者が出席したのに、政府は参加を見送り、参加国から「唯一の戦争被爆国が参加したと驚くべきことだ」などと批判された。不参加は歴史的過ちだったと言うしかない。

ロシアによるウクライナ侵攻を背景に、採択された宣言は「核兵器の使用や核による脅しは国際法違反」と強調、核保有国に「いかなる状況でも核の使用や核による威嚇をしない」ことを要求した。注目されたのはオブザーバー参加した国々だ。

日本とともに「クアッド」を構成するオーストラリアや、核同盟の北大西洋条約機構（NATO）に加盟するドイツ、ノルウェー、オランダ、ベルギーである。ドイツ代表は核の緊張緩和に向けて条約支持国との「自由な対話と誠実な議論」が重要だと強調した。

共同通信の太田昌克編集委員はこれらのオブザーバー参加を「核に依存する国でも、核兵器の正当性を否定する核禁止条約への道義的支持を示せることを実証した」と評価した。そして、日本の不参加を「後世史家から『歴史的な過ち』と指弾されかねない」と批判した。

日本政府は「核保有国の関与がなければ核軍縮は進まない」との立場で、核保有国との「橋渡し役」として「現実的な核軍縮の取り組み」を掲げる。しかしこれまで「橋渡し役」で成果はあったのだろうか。具体的な目標も示さず、米の「核の傘」に頼るが故に米に追随しているだけとしか見られていない。

28年連続で国連総会に提案し採択されている「核廃絶決議」もその1つだ。昨年10月の決議も「核兵器のない世界の実現へ、さまざまなアプローチが存在することと、全加盟国の信頼構築が必須であること留意する」と、米国に配慮した表現にとどめ、核禁止条約は言及を避けた。

岸田文雄は、8月にニューヨークで開催される核拡散禁止条約（NPT）再検討会議に、日本の首相として初めて出席する。しかし成果は期待できない。米、英、仏、中、ロの5か国にのみ核保有を認めるNPTを無視して核保有国は増えており、ロシアが核の威嚇をする事態も起きている。小型核兵器や核搭載可能な極超音速ミサイルの開発などで、核使用のハードルは下がっていると言われる。「使えない」「使ってはいけない」という「核のタブー」は崩壊の危機にある。

米統治時代に1,300発の核が配備され誤射事故が起きた沖縄にも、核戦争の危機は迫っている。核抑止に頼らず、核兵器による威嚇も禁止する核兵器禁止条約こそが「核廃絶」への道筋だ。歴史的な過ちを一刻も早く正すべきである。（琉球新報社説 2022年6月25日）

静岡県でも「核兵器禁止」に向けた活動がスタート

林県議が意見書の採択に向けて奮闘



前頁に掲載した様に、『核兵器禁止条約の締約国会議』に、日本が不参加を表明した事に関して、国内ばかりか世界からも多くの批判の声が続出しました。

その為に、『第5福竜丸』が被爆した静岡県では林よしくに県議会議員（清水区選出・ふじのくに県民会議所属）が中心となり、「日本政府に対して、唯一の戦争被爆国としての責務を果たすべく、核兵器禁止条約締約国会議におけるオブザーバー参加を含め、核兵器国を動かすための取り組みを進め、核兵器のない世界の実現に向けて努力することを要望する」ことを求める意見書の可決に向けた活動が展開されました。

最終的には、6月静岡県議会の最終日である7月1日に「唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界の実現に向けてより一層努力することを求める意見書」が可決されました。編集者は今回の「意見書の可決」に向けて奮闘された林よしくに県議会議員をはじめ、「ふじのくに県民会議」や関係者の皆様に心からの敬意を表します。

※小山市議の「市議会報告」は次号掲載します。

推一の戦争被爆国として、核兵器のない世界の実現にむけて より一層努力することを求める意見書

静岡県議会は2022年7月1日に上記の意見書を可決しました。意見書の提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣、防衛大臣です。

2021年1月22日に発効した核兵器禁止条約への署名国は86か国、批准国は65か国に上り、本年6月にはオーストリアのウィーンで第1回締約国会議が開催された。この締約国会議には、オブザーバーとしてブラジル、スウェーデン、フィンランドなどのほか、北大西洋条約機構加盟国のドイツ、ノルウェー、オランダ、ベルギーも参加している。

我が国は、唯一の戦争被爆国として広島、長崎の惨禍を経験しており、静岡県でもビキニ環礁での水爆実験による焼津の第5福竜丸の悲劇があった。国内では今なお多くの人々が被爆の後遺症に苦しみ、核兵器のない平和な世界への願いは強い。

岸田首相は、昨年10月27日に「唯一の戦争被爆国として、核兵器を動かして現実を変えていく努力をする責務があると信じている」と発言するとともに、本年3月31日には核兵器禁止条約について「核兵器の内世界への出口とも言える重要な条約である」と指摘している。

他方、岸田首相も指摘する通り、同条約には核兵器国が1か国も参加していないため、現実を変えるには、核兵器国を関与させるための努力が必要である。本年2月からはウクライナへの軍事侵攻を続けるロシアは、核兵器の使用も辞さないことを示唆しており、国際情勢は非常に緊迫し、核兵器のない平和な世界にはほど遠い。

よって国においては、緊迫する国際情勢の中で、唯一の戦争被爆国としての責務を果たすべく、核兵器禁止条約締約国会議におけるオブザーバー参加を含め、核兵器国を動かすための取り組みを進め、核兵器のない世界の実現に向けて努力することを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

☆掛川市勤労協

第70回定期大会・講演会を開催

掛川勤労協は5月31日（火）市内西南郷地域生涯学習センターにおいて、第70回定期大会と講演会を開催しました。

○定期大会

本年はコロナが蔓延し、多くの会員を参加させることは無理と判断し、役員会総会に切り替えた大会となりました。大会は来賓として衆議院議員・小山のぶひろ氏をはじめ、労金、全労済をお招きして開催しました。



大会議長には大井役員を選出し、議事進行して頂きました。堀内会長の挨拶をはじめ、2021年度事業報告等2022年度活動方針等スムーズに議案が採択され、執行部提案の全議案は満場一致で承認されました。



○講演会

定期大会終了後、掛川副市長高柳泉氏をお迎えし、講演会を当会場で開催しました。

講演会では『対話とチャレンジ』を旨とする久保田市長の市政運営の基本方針をはじめ、新しいゴミ処理施設、小中一貫教育推進に伴う学校再編問題やDX（行政事務や市

民サービスのデジタル化) 推進などの当面する課題について話されました。

2022年度役員

会長・堀内武治

副会長・鈴木久裕

事務局長・岡田三郎

事務局次長・笹本義雄

(通信員 岡田三郎)

☆袋井市勤労協

第71回定期大会を開催

袋井勤協第71回大会は、6月6日代議員、役・職員23名の出席により、白雲荘において開催されました。

議長に和田代議員を選出し、中島副会長が会長挨拶で登壇し、寺井会長のメッセージも披露しました。



続いて、堀内武治掛川勤協会長（静岡県勤協連会長兼務）による来賓祝辞と、大場袋井市長のメッセージ披露し、議事に入りました。

2021年度活動報告、決算報告等を承認した後、2022年度活動方針案、予算案の



審議に入り、原案通り承認されました。中島役員選考委員長提案の内容が満場一致承認され、新役員が決定しました。

新会長の決意表明により、新体制がスタートしました。

第2部アトラクションでは、悠月会の皆さによる踊りを観賞しました。



○会長挨拶 会員の皆さん こんにちは。

第71回定期大会で、会長になりました桑原清剛です。宜しくお願いします。

コロナと闘っている皆様には、日々の生活をより楽しくして頂くようお願いしております。私を含めて「人間はやっぱり出来損ないだ。神様みたいな人は少ない。皆失敗する。その出来損ないの人間を愛せるかどうかだ。」と田中角栄が云いました。

出来損ないであるから世の中面白い。皆百点だったらどうなる？

最近「高齢者」の文字が目立つが、今迄一生懸命働いて経済大国にしたのが今の高齢者である。そのご褒美に一時の「安心と楽しみ」を袋井勤協で交流しつつ享受しているだけです。皆さんが心配事や迷いがあるのは心の整理ができていないからです。

何か気付いたことがあったら、会館へ来て役員にストレスをぶちまけて下さい。あなたの免疫度が向上することを願いつつ運営していきます。

「健康は目的ではない。人生を楽しむための手段」です。



2022年度役員

会 長・桑原清剛

副会長・村松早苗、中島正二

事務局長・太田 強

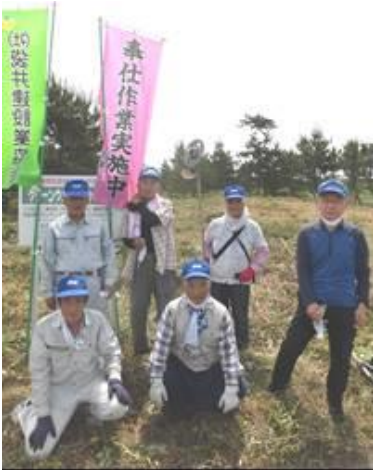
事務局次長・織田和利

植樹松の「下草刈り作戦」に参加

6月5日、袋井市農政課の要請により、浅羽海岸松林管理保全活動に勤協から6名が参加しました。

コロナ禍で2年間実施されなかったため、私達の背丈以上に茂った草やつるに悪戦苦闘しましたが、草刈り機が威力を発揮して、作業は順調に進み、見違える程のすっきりした状態になりました。

滴る汗を拭いながら、順調な生育を願い充実した気分で現地を後にしました。



恒久平和を願い 開催します

◇ 袋井勤協 第14回平和写真展～「広島・長崎原爆写真」他展示～

会場：袋井市役内 市民ギャラリー 会期：8月1日（月）～10日（水）

広島平和記念公園へ千羽鶴を奉納します。 折り鶴を平和展会場へお持ち頂けると助かります。

（袋井勤協ニュース NO. 460 より抜粋）



保障のことなら 保障の生協に 相談してみよう!

保障相談 キャンペーン 実施中!

キャンペーン期間：2022年6月1日(水)～8月31日(水)

キャンペーン期間中ならもちろん 保障相談 いただいた方に

ポケットin除菌 アルコールスプレー をプレゼント!

新規加入いただいた方には、さらにプレゼント!!

「病気やけが」

こくみん共済

人の保障

「火災や自然災害」

住まいの共済

住まいの保障

「交通事故」

マイカー共済

くるまの保障

まずは自分に合った保障を見つけた方に!

やさしい保障 プランニング

必要な保障をバランスよく備えたい。そんなときは目安となる保障と保障額をシミュレーションできる、「やさしい保障プランニング」!

自宅からお気軽にご予約・ご相談!

保障相談WEB予約受付

PC・スマホでかんたん予約! ご希望の相談方法、日時を選択して、保障相談をご予約いただけます。オンラインでの相談予約もこちらから!

お問い合わせはこちら! 受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始はお休み）

東部支所 ☎055-923-1755 中部支所 ☎054-254-3312 西部支所 ☎053-453-5888

（静岡県内各支所共通の受付時間） ☎420-0839 静岡市東区東2-13-4

※「やさしい保障プランニング」は、HPはコチラ! ☎HPはコチラ! ☎HPはコチラ!

※「やさしい保障プランニング」は、スマホでかんたん予約! ☎スマホでかんたん予約! ☎スマホでかんたん予約!

※「やさしい保障プランニング」は、自宅からお気軽にご予約・ご相談! ☎自宅からお気軽にご予約・ご相談! ☎自宅からお気軽にご予約・ご相談!

おかげさまで「静岡ろうきん」は、創立70周年。感謝の気持ちを胸に次の時代へ。

スマホで! Webで! 簡単&便利ライフ!

〈ろうきん〉サービスメニュー

スマホ決済 サービス

日常のさまざまなシーンで 便利で快適に

LINE Pay Jcoin PayPay Bank Pay au PAY

スマホがあれば お財布は不要

非接触で 支払いが可能

簡単に スマホで決済

ポイント還元と割引 特典はあふれる

お金の管理も楽々! 支払い履歴を 簡単チェック

ろうきん口座 開設アプリ

Web連携(無通帳型)で スマートな口座管理!

24時間365日 受付OK! 本人確認も簡単

アプリの詳細、ダウンロードは はこちら!

「ろうきん口座開設アプリ」は、スマートフォンで撮影した運転免許証の写真と、お申込みフォームで必要な情報を送信していただくだけで、約2週間でお口座を開通します。

ろうきんダイレクト

振込・振替や残高の照会が インターネットでご利用いただけるサービス

【振込・振替】
●振込 手数料が おとく!
●振替 一般財形 支払い
●エース預金 口座開設・入金・支払い
●定期預金 口座開設・入金・支払い
●投資信託 購入・解約

【ローン】
●カードローンの借入れ・返済
●ローン(返金貸付)の繰上返済

【その他】
●住所変更
●公共料金の自動引落登録

「ろうきん」から郵送等によりお客様にお届けしている各種書類(帳票)を、インターネット経由で閲覧できるサービスです。※ご利用には、「ろうきんダイレクト」からのお申込みが必要です。※デレフォンバンクではご利用いただけません。

残高や入金履歴を いつでもどこでもスマホでチェック! !!

残高・明細の照会

相談予約

住所変更

ろうきんダイレクト (インターネットバンク)

税金の支払い

Webお知らせ

ろうきんアプリ

アプリの詳細、ダウンロードは はこちら!

アプリのダウンロードは はこちら!

※口座開設(無通帳型)の初回開設のみご利用いただけます。

※口座開設(無通帳型)の初回開設のみご利用いただけます。

※口座開設(無通帳型)の初回開設のみご利用いただけます。